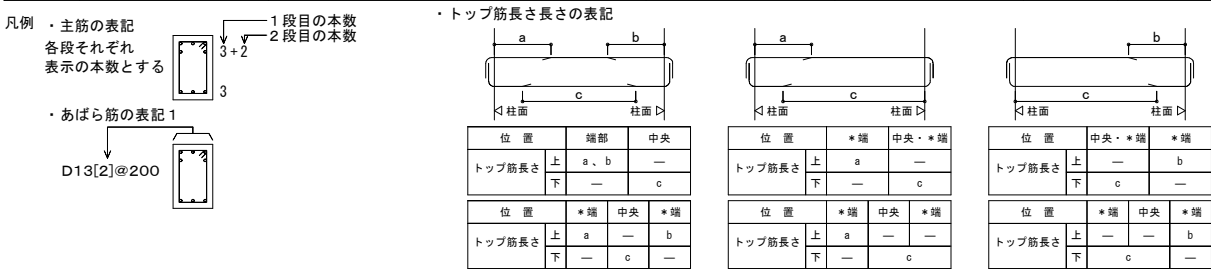


※特記なき限り 1. 幅止筋はD10@1000とし、幅止筋の形状は配筋標準図4-4による。
2. 腹筋は2-D10とし、表示の段数とする。
3. 「左端」はX方向を○通側、Y方向を1通側とする。

小梁リスト 1: 50																
名 称	g 1			g 2		g 2 A		g 4		g 4 A		g 5		g 5 A		
スパン	—			6,300		5,540 (4,570)		—		—		9,000		6,600		
位 置	全断面			端 部	中 央	左 端	中央・右端	全断面	全断面	端部	中央	左 端	中央	右 端		
断 面																
主筋径	D19			D19		D19		D19		D19		D22		D22		
主筋本数	上 3 下 3	4 2	2 4+2	4 2	2 2	2 2+1	6 4	4 6+4	6 4	4 6	6+2 4					
あばら筋	D10[2]#200			D10[2]#200		D10[2]#200		D10[2]#200		D10[2]#200		D13[2]#200				
トップ筋長さ	上 — 下 —	1,900 —	— 4,800	1,700 (1,500) —	— —	2,600 —	— 6,600	2,000 —	— 4,600	2,000 —						
備 考	—			—		—		—		—		—				
名 称	g 5 B			g 6		g 7		b 1		b 2		b 3				
スパン	10,500			—		9,600		—		9,500		9,500				
位 置	左 端	中 央	右 端	全断面		端 部	中 央	全断面	端 部	中 央	端 部	中 央				
断 面																
主筋径	D22			D19		D19		D19		D22		D22				
主筋本数	上 6+2 下 4	4 6	6 4	7 7	4 4+3	3 3	4 6+5	6 4	4 6+5							
あばら筋	D13[2]#200			D13[2]#100		D10[2]#200		D10[2]#200		D13[2]#200		D13[2]#200				
トップ筋長さ	上 3,000 下 —	— 6,800	3,000 —	— —	— 7,000	— —	— 7,000	— —	— 7,000							
備 考	—			—		—		—		—		—				
名 称	b 4			b 5		b 5 A		b 5 B		b 6		b 7				
スパン	—			9,600		10,600		10,600		—		—				
位 置	全断面	左 端	中 央	右 端	左 端	中 央	右 端	端 部	中 央	全断面	全断面					
断 面																
主筋径	D19			D22		D22		D22		D19		D22				
主筋本数	上 2 下 2	7 4	4 7	7+7 7	7+7 7	4 7	7 4	7 7+7	3 5+3							
あばら筋	D10[2]#200			D13[2]#200		D13[2]#200		D13[2]#200		D13[2]#200		D13[2]#200				
トップ筋長さ	上 — 下 —	2,800 —	— 6,300	2,800 —	3,000 —	3,000 6,900	— —	— 7,800	— —							
備 考	—			—		—		—		—		—				

跳ね出し梁リスト 1: 50

名 称	CG 1		CG 2		CG 2 A		CB 1		CB 2		CB 3		CB 4	
スパン	6,300		—		—		—		—		—		—	
位 置	元 端	先 端	元 端	先 端	元 端	先 端	元 端	先 端	元 端	先 端	全断面	全断面		
断 面														
主筋径	D25		D25		D25		D25		D25		D22		D19	
主筋本数	上 2+2 下 2	上 2 下 2	上 2+2 下 2	上 2 下 2	上 2+2+2 下 2	上 2 下 2	上 2+2 下 2	上 2 下 2	上 2+2 下 2	上 4 下 2	上 3 下 3			
あばら筋	D10[2]#200		D10[2]#200		D10[2]#200		D10[2]#200		D10[2]#200		D13[2]#200		D10[2]#200	
トップ筋長さ	上 5,900 下 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —			
備 考	—		—		—		—		—		—		—	

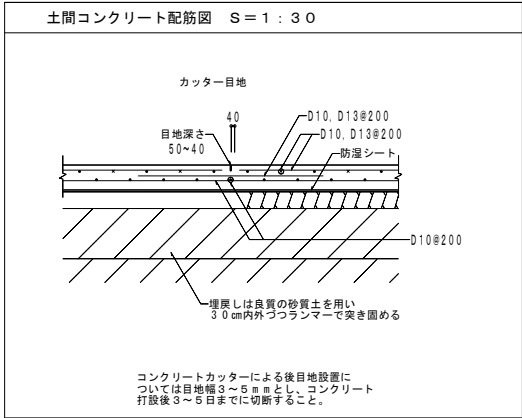
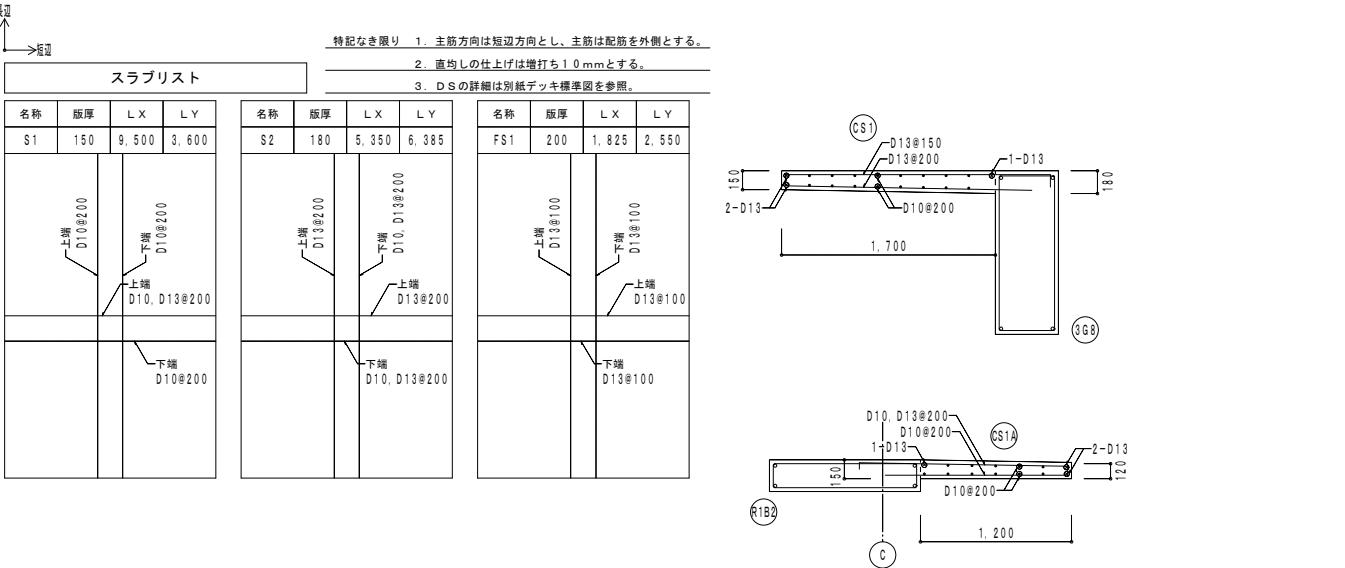


質問回答書 6 番

壁リスト 1:30

※特記なき限り 1. 巾止筋、受筋はD10-@1000とする。

符号	W15	W19 (W18)	W20 (W25)		EW20	EW20A	EW25	EW25A	EW30	EW40	EW45
厚	150	190(180)	200		200	200	250	250	300	400	450
形状											
縦筋	D10#200ダブル	D10#200ダブル	D10#200ダブル		D13#200ダブル	D13#200ダブル	D13#200ダブル	D13#200ダブル	D13#200ダブル	D16#200ダブル	D19#200ダブル
横筋	D10-#200チドリダブル	D10#200ダブル	D10#200ダブル		D13#200ダブル	D13#100ダブル	D13#100ダブル	D16-D13#100ダブル	D13#200ダブル	D16#100ダブル	D19#100ダブル
開口補強筋	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜筋 1-D13	2-D13 2-D13 2-D13	2-D13 2-D13 2-D13		4-D19 4-D19 2-D13	4-D19 4-D19 2-D13	4-D19 4-D19 2-D16	4-D19 4-D19 2-D16	4-D19 4-D19 4-D16	4-D19 4-D19 4-D16	8-D22 8-D22 2-D16
備考	() 内はW18を添す、 () 内はW25を添す、										



ボイドスラブリスト

区間	一般部		柱周リ補強範囲	
VS1	上端	3-D22	5-D22	
	下端	3-D22	3-D22	
ボイド直交方向	上端	D13#200	D13#100	
	下端	D13#150	D13#150	
フジスパイラー	375φ-#525		—	

凡例
・柱断面の寸法、
主筋の表記



- 特記なき限り 1. 仕口内帯筋は下層柱と同径、同ピッチとする。(中子筋は不要)
但し、基礎梁部分は上層柱フープと同径φ100とする。(中子筋は不要)
2. C8、C9、C9A、C9B、C9Cの帯筋は溶接閉鎖型とする。
3. 上層で柱主筋が増加することを示す。

柱リスト (1) 1 : 50

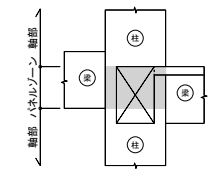
階	名 称	C1	C1A	C1B	C1C	C1D	C2	C2A	C3	C4	C5	C6	C7	C7A
R2	断 面	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
	主 筋						4-D22							
	帯 筋						D10□#100							
	備 考						—							
R1	断 面		—		—	—		—		—	—			
	主 筋	14-D22		30-D25			12-D22		16-D22			12-D22	12-D22	12-D22
	帯 筋	D10▣#100		D10▣#100			D10□#100		D13□#100			D10□#100	D10□#100	D13□#100
	備 考	—		—			—		—			—	—	—
2	断 面	同上						—	同上	—	—			
	主 筋		14-D22	14-D25	30-D25	柱頭: 22-D25 柱脚: 14-D25	20-D22					24-D22	24-D22	24-D22
	帯 筋		D10目#100	D10▣#100	D10目#100	D10目#100	D10□#100					D13□#100	D13□#100	D13□#100
	備 考		—	—	—	—	—					—	—	FC33
1	断 面	同上	同上	同上	同上		同上		同上			同上		
	主 筋					14-D25		24-D22		20-D22	14-D22		柱頭: 32-D22 柱脚: 24-D22	24-D22
	帯 筋					D10目#100		D13▣#100		D13□#100	D10目#100		D13□#100	D13□#100
	備 考					—		—		—	—		—	—

階	名 称	C8	C9	C9A	C9B	C9C	C9D	C10	C11	C20
2	断 面									—
	主 筋	12-D22	柱頭: 9-D25 柱脚: 18-D25	24-D25	12-D25	柱頭: 26-D25 柱脚: 13-D25	柱頭: 24-D25 柱脚: 12-D25	12-D22	12-D22	
	帯 筋	D13○#100	D13○#100	D13○#100	D13○#100	D13○#100	D13○#100	D10□#100	D10□#100	
	備 考	帯筋溶接閉鎖型	帯筋溶接閉鎖型	帯筋溶接閉鎖型	FC33、帯筋溶接閉鎖型	帯筋溶接閉鎖型	帯筋溶接閉鎖型	—	—	
1	断 面	同上						同上	同上	
	主 筋		柱頭: 18-D25 柱脚: 9-D25	12-D25	12-D25	13-D25	12-D25			24-D22
	帯 筋		D13○#100	D13○#100	D13○#100	D13○#100	D13○#100			▣#D13-#100
	備 考		FC33、帯筋溶接閉鎖型	FC33、帯筋溶接閉鎖型	FC33、帯筋溶接閉鎖型	FC33、帯筋溶接閉鎖型	FC33、帯筋溶接閉鎖型			—

名 称	P1	P2	P2A
断 面			
主 筋	10-D22	10-D22	柱頭: 10-D22 柱脚: 12-D22
帯 筋	D10目#100	D10▣#100	D10▣#100
備 考	—	—	—

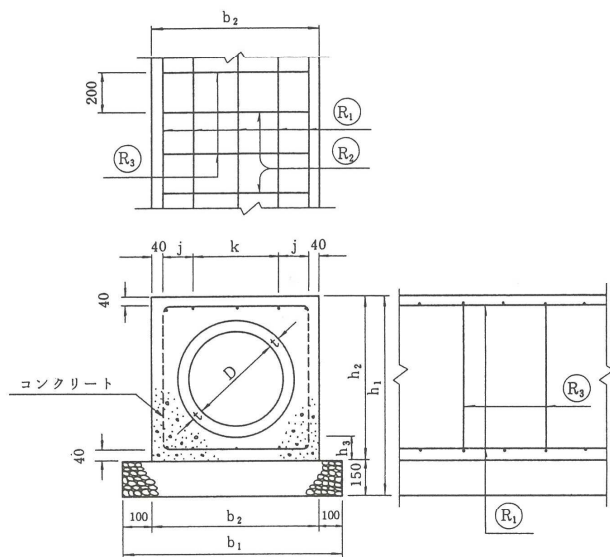
仕口内フープの範囲要領図

パネルゾーンとは、柱を挟んで4方向の梁が重なっている部分とする。



質問回答書 7 番

付図 9. 4 360° 型コンクリート基礎 (φ150~500)



質問回答書 14 番

360° 型コンクリート基礎寸法

名 称	寸 法 表 (単位: mm)								
	D	t	b ₁	b ₂	h ₁	h ₂	h ₃	j	k
D150	150	26	600	400	550	400	100	160	—
D200	200	27	660	460	610	460	100	190	—
D250	250	28	700	500	650	500	100	210	—
D300	300	30	760	560	710	560	100	240	—
D350	350	32	820	620	770	620	100	170	200
D400	400	35	980	780	930	780	150	230	240
D450	450	38	1,020	820	970	820	150	240	260
D500	500	42	1,080	880	1,030	880	150	200	400

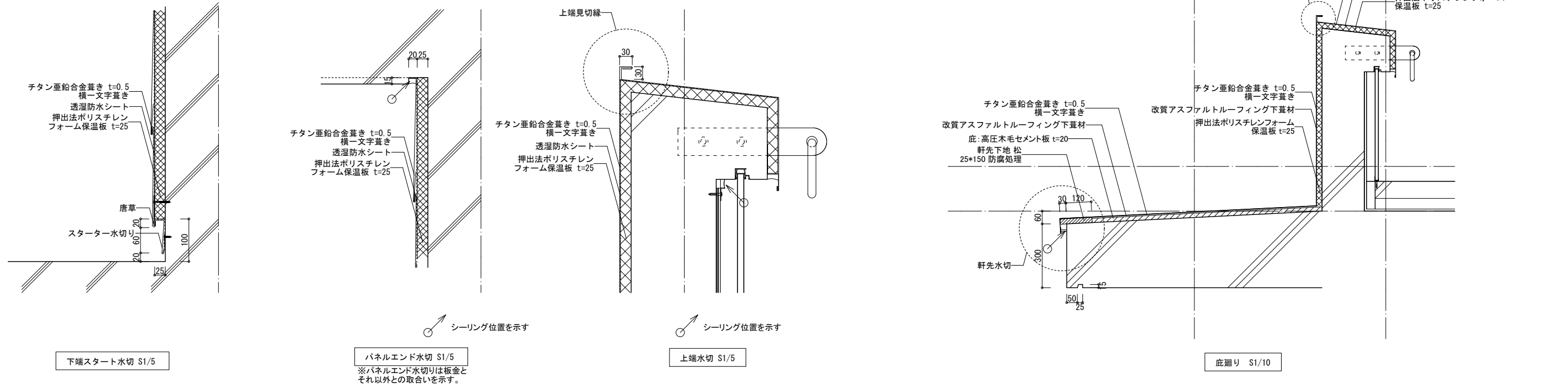
付表 9. 1 遠心力鉄筋コンクリート管の360° 型コンクリート基礎の鉄筋材料表

鉄 筋 材 料 表

名称	縦方向鉄筋 ㊦ (10m 当り)				横方向鉄筋 ㊦ (10m 当り)				鉄 筋 摘 要			
	鉄筋径	本数	1 本当り長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋径	本数	1 本当り長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋総重量 (kg)	鉄筋のラップ長は 30D とする
D150	D13	6	10,390	0.995	62.028	D13	50	350	0.995	17.412	51.242	
D200	D13	6	10,390	0.995	62.028	D13	50	410	0.995	20.397	57.212	
D250	D13	6	10,390	0.995	62.028	D13	50	450	0.995	22.387	61.192	
D300	D13	6	10,390	0.995	62.028	D13	50	510	0.995	25.372	67.162	
D350	D13	8	10,390	0.995	82.704	D13	50	570	0.995	28.357	73.132	
D400	D13	8	10,390	0.995	82.704	D13	50	730	0.995	36.317	89.052	
D450	D13	8	10,390	0.995	82.704	D13	50	770	0.995	38.307	93.032	
D500	D16	10	10,480	1.560	163.488	D13	50	830	0.995	41.252	99.002	

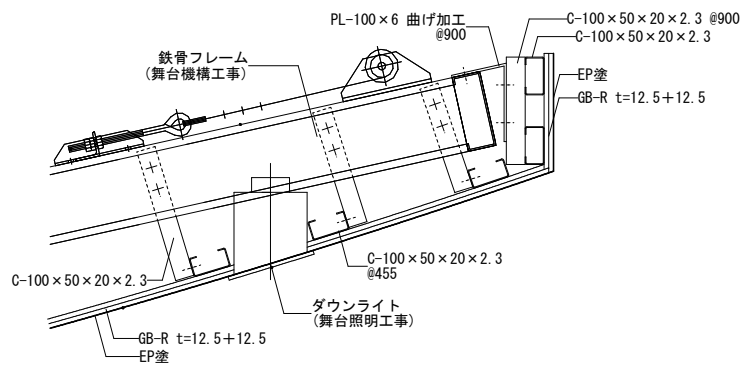
別図1

質問回答書 36番
質問回答書 37番



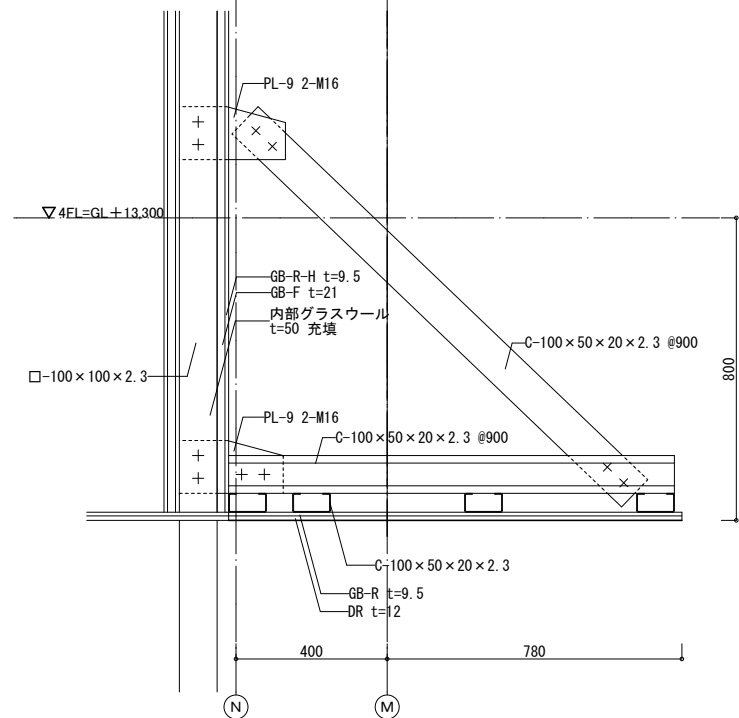
別図2

質問回答書 46番



別図3

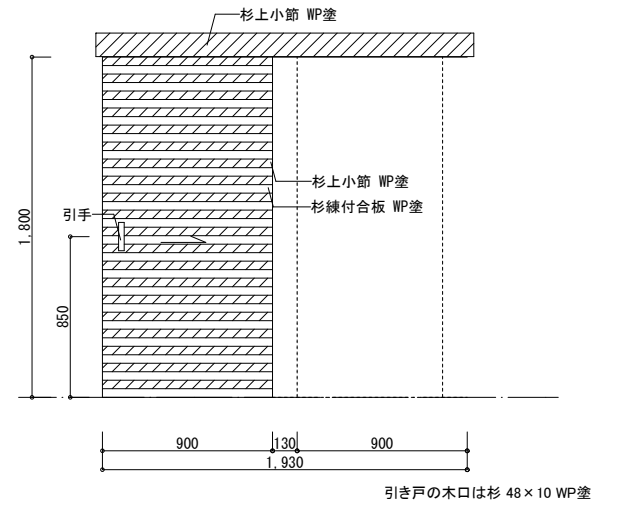
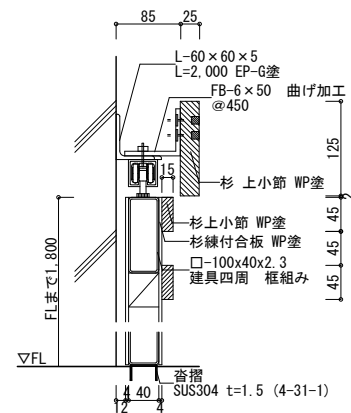
質問回答書 48番



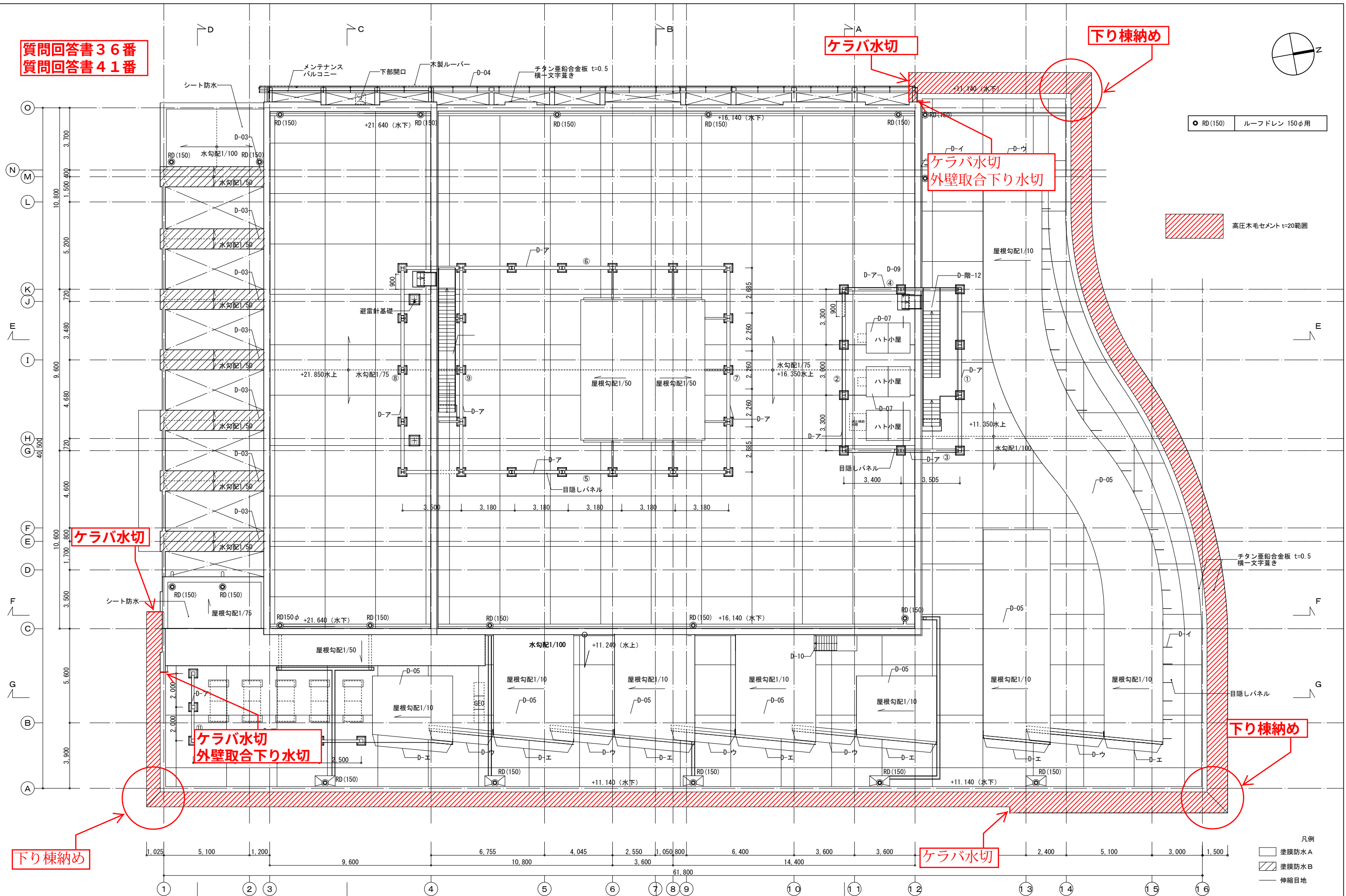
別図4

質問回答書 55番

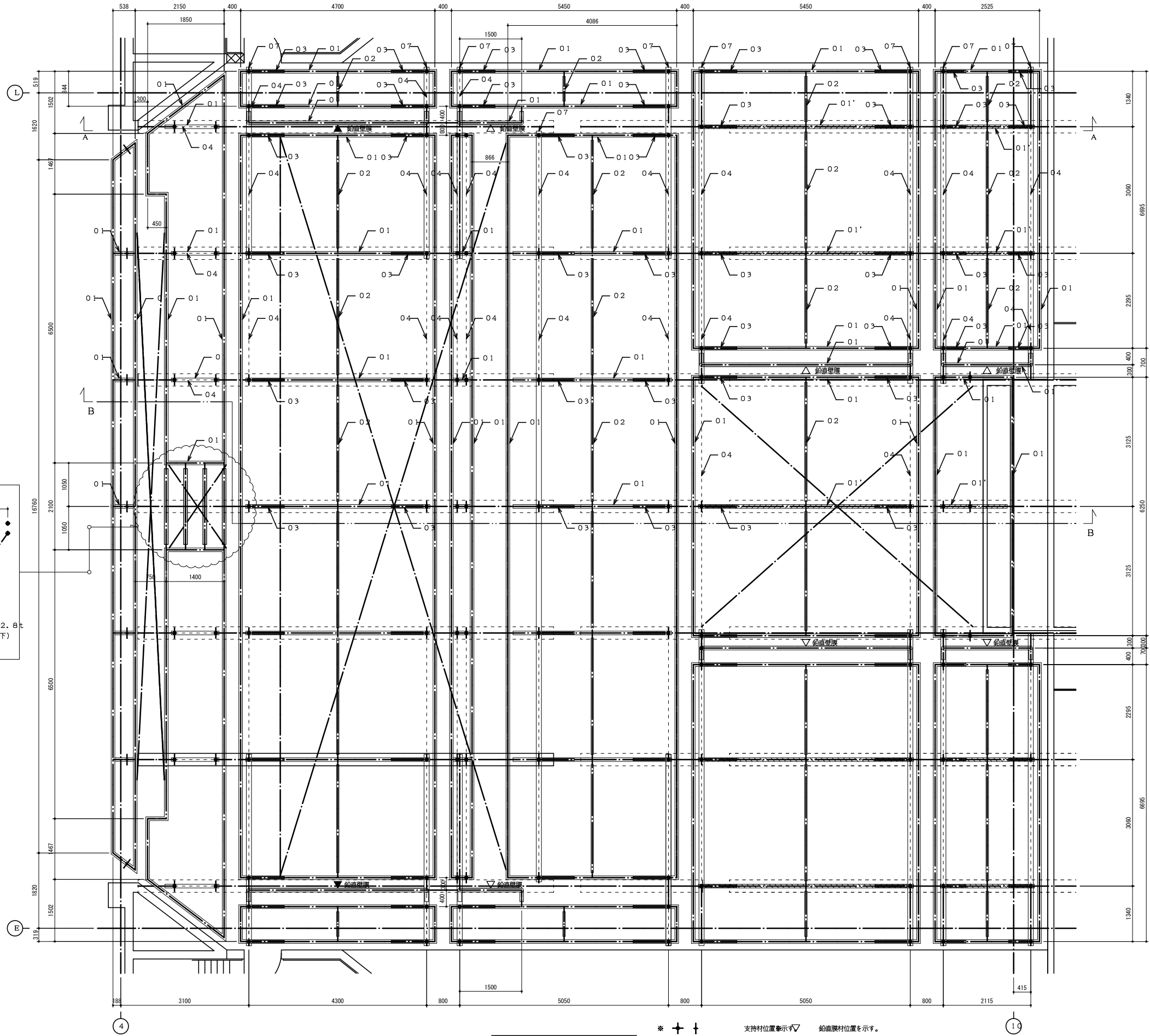
質問回答書154番

[illegible]

質問回答書 36番
質問回答書 41番



訂正	月	日		備考	(仮称) 有田市地域交流センター設計 徳岡設計・アル企画・Spazio 設計共同企業体	作成年月日 2015. 5. 12	登録技術者 (建築士登録第200382号) 徳岡 浩二	工事名称 (仮称) 有田市地域交流センター新築工事	設計 NO. 2015012	図面 NO. A-022
						発行年月日	担当者 藤城 義丈	監 査 山崎 友也 山崎 友也	図面名称 別紙 3	1 : 100 (A1) 1 : 200 (A3)



MEMBER LIST	
01	P-89, 1φ×3, 2t
01'	P-89, 1φ×3, 2t 要抱込み掛り布
02	P-60, 5φ×2, 3t
03	方杖:L-50×50×4
04	WR-6, 3φ(ターンバックル付) X 形状
05	支持材:P-89, 1φ×3, 2t
06	P-42, 7φ×2, 3t
07	本体追加要下地梁材:H-125×125×6, 5×9

天井膜材	
膜材名: クリーンマックス CMX220 (CMX220)	
認定番号	建築基準法第37条第二号 (材料認定)
	MEM-9023
	建築基準法施行令第2条第九号 (不燃材料)
	NM-3032

※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。
※一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場で加工すること。
※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。
・装置下地等とのすり合わせにより、位置、寸法等が変更となる場合があります。

質問回答書 44番

訂正	月	日	備考	(仮称) 有田市地域交流センター設計 徳岡設計・アール企画・Spazio 設計共同企業体	作成	年	月	日	管理技師 1級建築士登録第200362号 徳岡 浩二			工事名称 (仮称) 有田市地域交流センター新築工事			設計 NO. 2015001	図面 NO. 00
					発行	年	月	日	組合生活環境技術部 1級建築士登録第199925号 藤城 義文		監造 山崎 友也	製図 松岡 志延	別紙 4 - 1 1 : 50 (A1) 1 : 100 (A3)			